

第6学年 国語科学習指導案

6年2組 33名

指導者 日下 直毅

1 単元名 “ホッと”な座右の銘ブックをつくろう 『大切にしたい言葉』（光村図書）

2 指導にあたって

(1) 単元設定の理由

学習者は、これまでに、俳句や短歌をつくる学習を通して、自分の思いや伝えたいことにぴったりと合う言葉を選ぶことができるようになってきた。学習材『私たちにできること』の学習では、提案の理由と内容を明確にした文章を構成することができている。また、タブレット端末を用いてプレゼンテーションを作る際にも、考えが伝わりやすくなるように、情報を取捨選択し、言葉を吟味することに取り組んだ。しかし、自分の伝えたいことを書こうとしても、分かりにくい文章になってしまったり、書いた文章のどこをどのように直せばよいのか迷ったりする姿が見られた。そこで、文章を書くときに言葉による見方・考え方を働かせ、自分の思いにぴったりの言葉を選び、伝えたいことを明確にして書く指導を行いたいと考えた。また推敲することで、自分の表現を吟味する観点を知り、自分の思いが読み手に伝わる喜びを体験したり、推敲の意義を実感したりできるようにしたい。そして、文章全体の構成や書き表し方の工夫を共有し、自他の文章のよいところを見付けさせたいと考え、本単元を設定した。

本単元では、学習材『大切にしたい言葉』を扱う。ここでは、座右の銘として大切にしたい言葉と自分の生活体験を結び付け、自分が感じたことや考えたことを、他者に伝えるために書く活動を行う。学習者が、文章全体の構成を考えたり、グループで共同推敲したりすることにより、思いが伝わる書き表し方の工夫を学ぶことができる教材である。また、スポーツ選手や偉人、伝記や物語の登場人物の名言などを例に挙げることで、親しみを感じ学習に取り組む意欲が湧くと考える。

本単元における学習者の活動目標は、「“ホッと”な座右の銘ブックをつくろう」である。座右の銘を学級で読み合い思いを伝えたり、学年の友達に発信したりすることにより、書くことの楽しさや面白さに気付くことができるようにしたい。多様な座右の銘と触れ合うことになるこの学習では、学習者はたくさんの言葉とその価値に出合うこととなる。言葉に対する意識を高め、言葉を大切に作る姿勢を育み、卒業文集作成などこれからの生活に活かすことができるようにしたいと考える。

(2) 言葉による見方・考え方を働かせ、考えを形成し、共有する指導の工夫

常時活動として行う日記や、気に入った言葉を集める「ことば通帳」を振り返ったり、思考を整理するためにワークシートを活用したりすることで、大切な言葉を選んだ理由や、その言葉に結び付く自分の経験を明確にできるようにする。共同推敲では推敲のポイントを示し、書き手が確認してほしいところを中心に考える事ができるようにする。また、指導の手立ての工夫として、単元の中でタブレット端末を活用する。タブレット端末を活用し文章を作成することで、学習者は編集が容易にでき、文字数も意識しやすくなる。さらに、MetaMojiの共同編集機能を活用することで、グループ内で入力した情報を常に確認でき、書き表し方の工夫を友達と共有していく手掛かりになると考える。

3 単元の目標

(1) 活動目標 「“ホッと”な座右の銘ブック」をつくろう

(2) 指導目標と単元の評価規準

指導目標	評価規準	評価の観点
○語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙の質を高めることができるようにする。	○語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙の質を高めている。	[知識・技能] (1)オ
○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	[思・判・表] B書くことウ
○互いの文章を読み合い、目的や意図に応じた文章の構成や展開になっているかなどについて具体的に感想や意見を伝え合い、自他の文章の良いところを見付けることができるようにする。	○「書くこと」において、互いの文章を読み合い、目的や意図に応じた文章の構成や展開になっているかなどについて具体的に感想や意見を伝え合い、自他の文章の良いところを見付けている。	[思・判・表] B書くことカ
○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	○自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって大切にしたい言葉についての文章を書こうとしている。	主体的に学習に取り組む態度

4 単元の構想と評価計画

学習活動と学習者の意識（全9時間）	主な指導・支援	評価規準
<p>事前 印象に残っている言葉・名言を集める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">先生がよく言う「〇〇」という言葉がよく頭に残っているな。どのようにできた言葉なんだろう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">私は漫画をよく読むけれど、カッコいいセリフや心に残ったセリフがあるよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">伝記や新聞の中にも、名言があるかもしれないから、よく読んで集めてみたい。</div> </div>	<p>○学級文庫に名言集を置いたり、新聞記事やテレビ等で見聞きした言葉を、ことば通帳に書いて、身の回りの言葉に意識して生活できるようにする。</p>	
<p>第一次 座右の銘にしたい言葉を出し合う。・・・2時間</p> <p>①座右の銘にしたい言葉を決める。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">座右の銘とはそういうことか。スポーツ選手も座右の銘をもっているって聞いたことがあるよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ことば通帳に、ことわざも集めたよ。この言葉があれば、苦しい時にも頑張れる気がする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">友だちとの付き合い方で悩んだ時、この伝記の言葉を思い出せば勇気付けられそうだな。</div> </div> <p>②ワークシートを活用し、選んだ言葉に結び付く経験を書き出す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">先生が言っていた言葉にとっても励まされたな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">私がピアノの発表会で緊張した時の経験とこの名言を結び付けよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">1年生との交流で感じたことをこの名言と結び付けて、どんな文章にしようかな。</div> </div>	<p>○学級で座右の銘ブックをつくることを提案し、実際に指導者が作った文章を紹介することで、学習のイメージをもてるようにする。</p> <p>○自分の経験と結び付く座右の銘を選べるように、普段興味をもっていることと結び付けて考えるよう助言する。</p>	<p>○自分の考えが伝わるように書き表し方を粘り強く吟味し、見通しをもって大切にしたい言葉についての文章を書こうとしている。（発言・ワークシート）</p>
<p>第二次 座右の銘ブックの文章を書く。・・・6時間（本時5/6時間）</p> <p>①文章の構成を考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">座右の銘を伝える文章にするには、何を書き、どのようにまとめればいいのか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">座右の銘に結び付く自分の体験を、具体的に入れると分かりやすくなりそうだ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">これからどのように座右の銘を大切にしていきたいかも、書き表せるかな。</div> </div> <p>②タブレット端末（Word）を使って下書きをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">初めの部分には、どんな内容を書こうかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">構成メモの中で、より詳しく書いたほうがいいのか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">詳しく伝えたいことを意識して書いてみよう。経験を具体的に書くと分かりやすそう。</div> </div> <p>③下書きを推敲する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">下書きはできたけれど、これで自分の考えが伝わるかは少し不安だな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">「思う」という言葉が多いな。他の言葉に変えることができるかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">読みにくいところや分かりにくいところはないかを確認してほしい。</div> </div> <p>④⑤グループで共同推敲し、よりよい書き表し方を検討する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分の経験の部分の文章に自信がないから、確認してほしい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">「くやしい」と「悲しい」ではどちらの方が、より自分の思いに近いかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">〇〇さんが考えてくれた言葉の方がぴったりかも。文章を変えてみよう。</div> </div> <p>⑥共同推敲したことをもとに、清書し分析する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">確認してもらったところをもう一度読んで、アドバイスを振り返ってみよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">もう一度読んでみるとやっぱりこの文は長いな。二文に分けて短くしよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">主語がなくて分かりにくい文章があったから、主語を付け足そう。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">下書きと比べると、文章の量が増えたよ。わかりやすく書けたと思うよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">前の文だと長くて読みづらかったけど、二文に分けると読みやすくなったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分では気付かなかったけれど、経験について具体的に書き加えたら、分かりやすい文章になったよ。</div> </div>	<p>○構成メモを書くための視点を示した手引きを提示する。</p> <p>○なかなか書き進めることができない時は、言葉に関する体験を聞き取ったり、「中」の内容を詳しくしたりするよう助言する。</p> <p>○教師の書いたモデル文や、推敲のポイントを示した手引きを用意することにより、推敲する手掛かりにする。</p> <p>○共同推敲は、互いに見てほしいポイントを示し、文章がわかりやすく伝わるかや、疑問を解決するために行うことをおさえる。</p> <p>○友達のアドバイスをもとにして、文章を清書し、分析するように助言する。</p>	<p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。（発言・ワークシート）</p> <p>○語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙の質を高めている。（発言・ワークシート）</p> <p>○互いの文章を読み合い、目的や意図に応じた文章の構成や展開になっているかや、書き表し方の工夫について具体的に感想や意見を伝え合い、自他の文章のよいところを見付けている。（発言・ワークシート）</p>
<p>第三次 座右の銘ブックをつくる。・・・1時間</p> <p>①学級全体で読み合って感想を伝え合い、学習を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">〇〇さんの文章は、自分の体験と座右の銘がしっかり結びついていて読みやすい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">自分の思いを伝えるのに似たような言葉でもよく考えて使い分けたいよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">これからは文章を書いて満足するだけではなく、読み返して、よりよい文章が書けるようになりたい。</div> </div>	<p>○友達の書いた文章を読むときには、様々な視点から感想が書けるように手引きを用意する。</p>	

5 本時の学習

(1) 本時の指導について

本時は、下書きした文章を読み合い、グループで共同推敲する学習を行う。自分が気付いたよさや改善点を、全体で共有することにより、自分の思いが読み手に伝わる書き表し方について、理解を深めていくことを指導者のねらいとする。前時でまとめた推敲のポイントを示し、下書きした文章を推敲していく手掛かりとする。また、MetaMoji の共同編集機能を活用し、グループの友達が入力した情報を常に確認できるようにする。

(2) 目 標

①活動目標

グループで下書きを推敲し合い、交流しよう。

②指導目標

書き手の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、改めたりした部分について伝え合い、自他の文章のよいところを見付けられるようにする。

(3) 展 開

学習活動	主な指導・支援	具体的評価規準
<p>1 前時の学習を想起し、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>グループで下書きを推敲し合い、交流しよう。</p> </div>	<p>1 前時の振り返りを促し、本時の学習内容を確認する。</p>	
<p>2 グループ内で下書きを共同推敲する。</p> <p>〈活動の流れ〉</p> <p>①グループの友達の文章を推敲し、修正するところに線を引き、通し番号を書く。(タブレット端末)</p> <p>②付箋に修正の内容を詳しく書く。</p> <p>③書き込んだ付箋を渡す。</p> <p>④次の文章の推敲を始める。</p>	<p>2 書いた文章のよさや改善点をグループで共有することができるようにし、ワークシートに書き加えるよう促す。</p> <p>○タブレット端末を活用し、ワークシートを共同編集できるようにする。</p> <p>○手引きに、推敲するときの観点を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすくわかりやすい文章か。 ・自分の考えが伝わる文章か。 	<p>互いの文章を読み合い、目的や意図に応じた書き表し方の工夫ができていないかなどについて、具体的に感想や意見を伝え合い、自他の文章のよいところを見付けている。(発言・ワークシート)</p>
<p>3 グループで共同推敲して気付いたことや、書き表し方の工夫について全体で共有する。</p>	<p>3 書き表し方の工夫について理解が深まるように、学習者の意見を整理して板書する。</p>	
<p>4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>4 ワークシートに本時の振り返りを行い、次時への意欲をもつことができるようにする。</p>	

(4) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	表現を吟味する観点を生かし、具体的に感想や意見を伝え合うことにより、書き表し方の工夫について理解を深め、推敲することのよさに気付いている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末で気付きを共有し、考える手掛かりとする。 ・ワークシートに共同推敲するときのポイントや、話し合いの進め方を示し、グループでの交流をすすめるようにする。